

あぶたんつうしん 118号

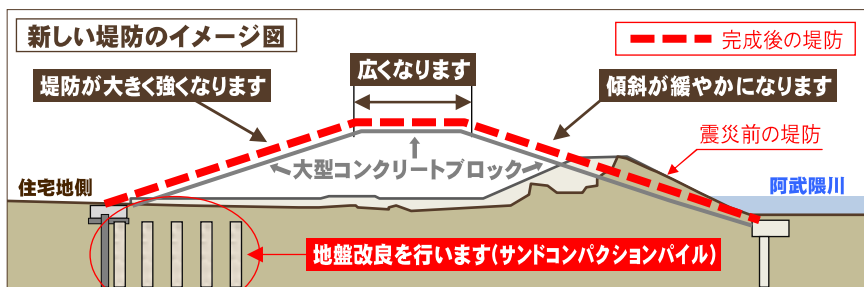
岩沼出張所

管内工事の進ちょく状況について【堤防災害復旧工事 編】

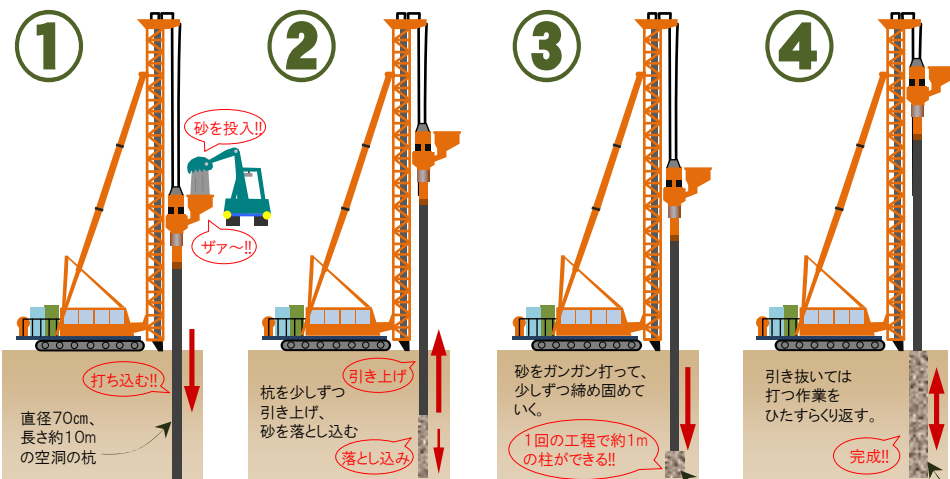
阿武隈川下流 堤防災害復旧工事



岩沼出張所では、阿武隈川河口部の堤防約2.2kmを対象に、約3年かけて堤防本復旧工事を行います。現在は堤防を築く前の地盤改良作業を行っている段階で、「**サンドコンパクションパイル**」とよばれる砂のできた杭を地中に打ち込んでいます。砂のできた杭!? と驚かれるかもしれませんがね。「サンドコンパクションパイル」は液状化しやすい地盤を強く締め固め、地震の際にも堤防などを壊れにくくすることができます。今回は、この工法についてご紹介していきたいと思います！



サンドコンパクションパイル工法の概要



① 打ち込む!!
直径70cm、長さ約10mの空洞の杭

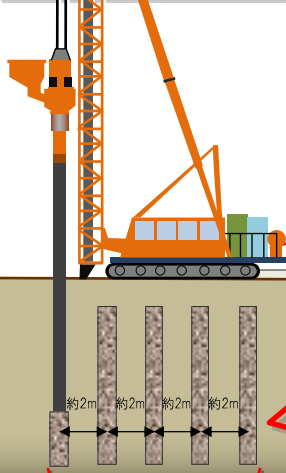
② 引き上げ、砂を落とし込む
杭を少しずつ引き上げ、引き上げて開いた穴に、砂を落し込んでいく。

③ 砂をガンガン打って、少しずつ締め固めていく。
1回の工程で約1mの柱ができる!!

④ 引き抜いては打つ作業をひたすらくり返す。
完成!!

最初は40cmだった直径が上からギュッと圧縮されて70cmにまで太くなる!!

直径70cm、長さ約10mの頑丈な砂柱が完成!!



サンドコンパクションパイルを液状化しやすい箇所に約2m間隔で打ち込んでいき、地震にも津波にも負けない強い堤防を造っていきます!!

